

カリブラコア属  
特性調査マニュアル



(第3版)

令和2年2月28日 改正

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

種苗管理センター

(6) 特性表

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	1	QN (+)	草姿	Plant: growth habit	草姿	観 察 VG	1 2 3	立性 中間 開張性	upright semi-upright spreading		

●調査時期

植物体の生育状況を経過観察し、判断する(摘心後2.0~2.5ヶ月を目安とする)。

●調査方法

茎の性状及び株の形状を観察し、参考事項の表を基に評価する。

調査適期を過ぎると枝の重みで分枝の基部から裂けて草姿が乱れることがあるため、乱れた状態で判断しない。

※上段の写真は  
審査基準から引用

1  
立性  
upright



2  
中間  
semi-upright



3  
開張性  
spreading



参考事項

VIPS №	形質番号	UPOV №	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
2	2	2	QN (* (+) G	草丈	Plant: height	草丈（調査は摘心から2～2.5ヶ月程度経過した、試験終了の頃に行う）	測定 cm MS/ VG	3 5 7	低 中 高	short medium tall	SAKCAL105 KLECA11227 USCAL5302M	

●調査時期

試験終了の頃（摘心から2～2.5ヶ月程度経過した時期）に行う。

●調査方法

地際から植物体最高部までの自然状態での高さを測定する。



参考事項

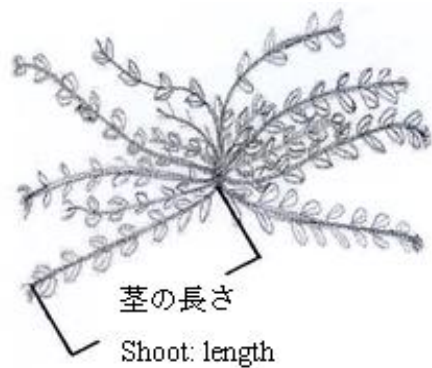
VIPS №	形質番号	UPOV №	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
3	3	3	QN (* (+)	茎の長さ	Shoot: length	茎の長さ (調査は摘心から2~2.5ヶ月程度経過した、試験終了の頃に行う)	測定 cm MS/ VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	SAKCAL105 Suncalpi KLECA06126	

●調査時期

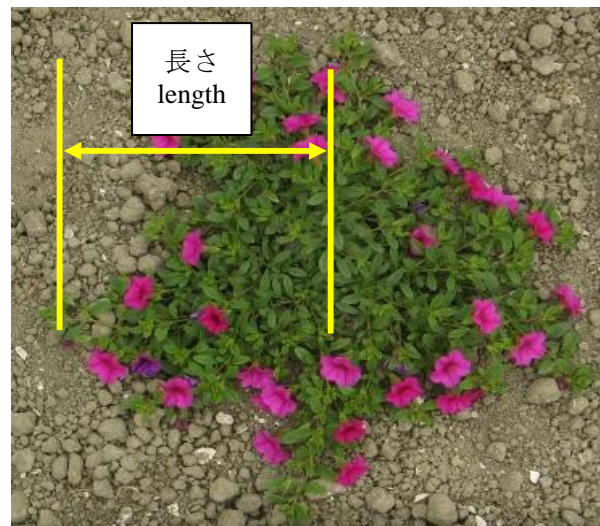
試験終了の頃 (摘心から2~2.5ヶ月程度経過した時期) に行う。

●調査方法

最長茎の基部から先端部までの長さを測定する。曲がっている場合は、伸ばして測定する。



図は旧UPOVテストガイドライン(UPOV-TG207/1, 2003-04-09) から引用



参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
4	4	4	QN (*)	葉の長さ	Leaf: length	葉の長さ	測定 mm MS/ VG (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	BALCABPLO Suncalpi USCAL5302M	

●調査時期

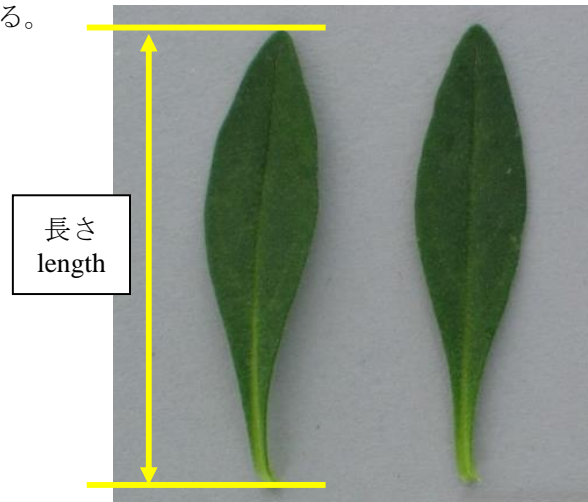
試験終了の頃（摘心から2～2.5ヶ月程度経過した時期）に行う。

●調査方法

茎中間部付近の十分に展開した典型的な葉を測定する。

湾曲している場合は広げて測定する。

葉柄部分も含めて測定する。



参考事項

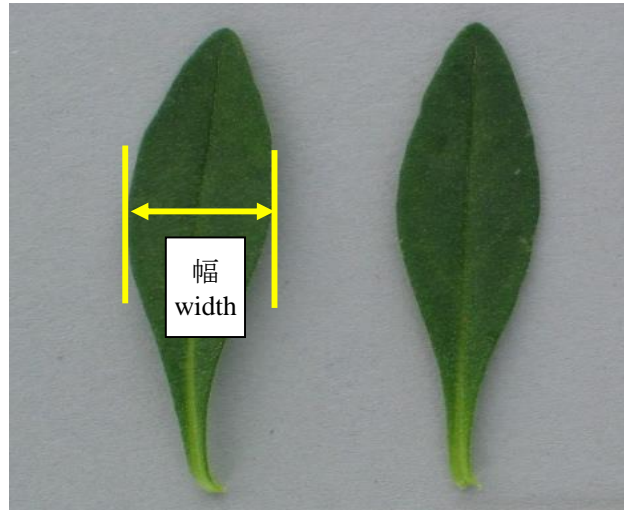
V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
5	5	5	QN (*)	葉の幅	Leaf: width	葉の幅	測定 mm MS (a)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	CBRZ0002 KLECA11227 USCAL5302M	

●調査時期

試験終了の頃（摘心から2～2.5ヶ月程度経過した時期）に行う。

●調査方法

茎中間部付近の十分に展開した典型的な葉を測定する。  
湾曲している場合は広げて測定する。  
葉の最大幅部を測定する。



参考事項



V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	6	6	PQ (+)	葉の先端の形	Leaf: shape of apex	葉の先端の形	観 察 V G (a)	1 2 3	狭鋭形 鈍形 円形	narrow acute obtuse rounded		

●調査時期

試験終了の頃（摘心から2～2.5ヶ月程度経過した時期）に行う。

●調査方法

茎中間部付近の十分に展開した典型的な葉を観察する。

葉先の角度から総合的に判断する。

葉の先端のみを観察するのではなく、審査基準の写真を参考に、葉の上部全体（1/3）を観察し判断する。

1  
狭鋭形  
narrow acute



2  
鈍形  
obtuse



3  
円形  
rounded



※写真は  
審査基準  
から引用



参考事項

VIPS №	形質番号	UPOV №	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
7	7	7	QL (* (+) G	葉の斑の有無	Leaf: variegation	葉の斑の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present		

●調査時期

試験終了の頃（摘心から2～2.5ヶ月程度経過した時期）に行う。

●調査方法

茎中間部付近の十分に展開した葉を観察する。



1  
無  
absent



9  
有  
present

※写真は審査基準から引用

参考事項



V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
8	8	8	PQ (+)	葉の主な色	Leaf: main color	葉の主な色	観 察 VG (a)	1 2 3 4	淡黄 淡緑 緑 濃緑	light yellow light green medium green dark green	KLECA06126 CBRZ0002 Sunbel 0778	

●調査時期

試験終了の頃（摘心から2～2.5ヶ月程度経過した時期）に行う。

●調査方法

茎中間部付近の十分に展開した典型的な葉を観察する。

主な色は表面の最大面積の色とする。主な色と二次色の面積が同等の場合は、濃い色を主な色とする。

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
9	9	9	QN (*)	小花柄の長さ	Pedicel: length	小花柄の長さ	測定 mm MS/ VG	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	KLECA06126  KLECA11227 SAKCAL100 Sunbelrikubu	

●調査時期

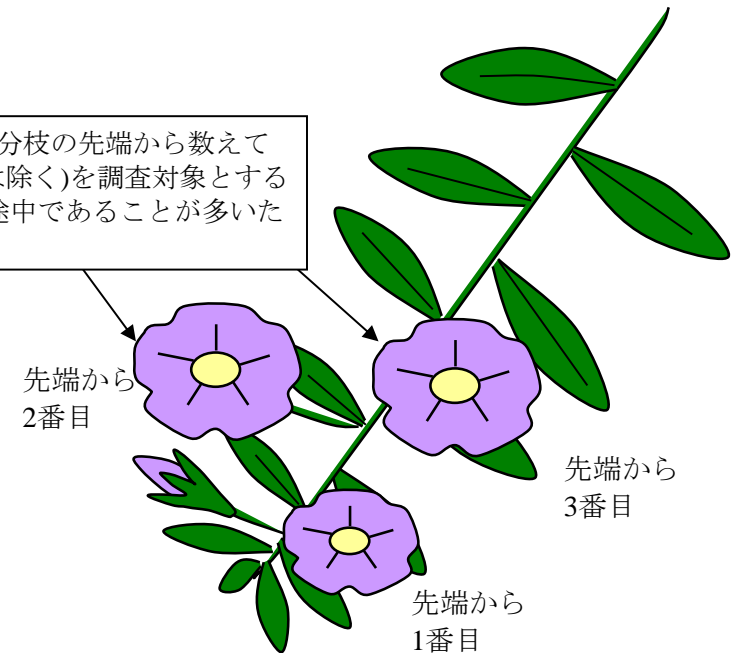
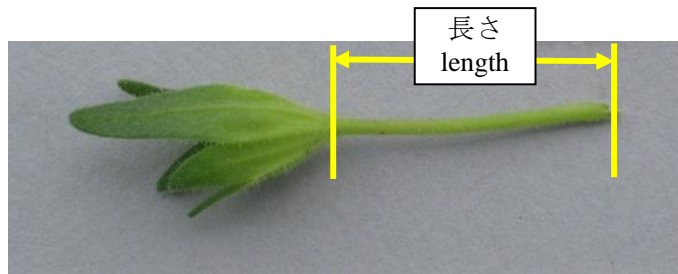
摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。

●調査方法

分枝の先端から2～3番目に着生する、典型的な開花盛期の花の、小花柄の長さを測定する。

湾曲している場合は伸ばして測定する。

小花柄、がく片、花の調査は、分枝の先端から数えて「2番目か3番目の花」(つぼみは除く)を調査対象とする(先端から1番目の花は、展開途中であることが多いため)。



参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
10	10	10	QN (* (+)	がく片の長さ	Calyx lobe: length	がく片の長さ	測定 mm MS/ VG	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	USCALI334-1  Sunbelrikubu SAKCAL100 USCALI1651	

●調査時期

摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。

●調査方法

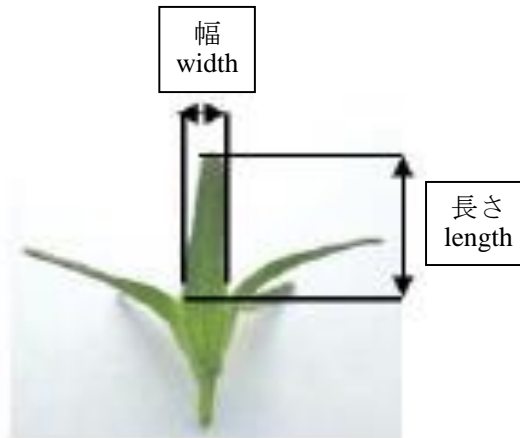
分枝の先端から2～3番目に着生する、典型的な開花盛期の花の、がく片の長さを測定する。

がく片の調査は、「Ⅷ.特性表の説明」に従い、5枚のがく片のうち最も幅が広いがく片を測定する。

湾曲している場合は広げて測定する。



がく片  
calyx lobe



※写真は審査基準から引用

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
11	11	11	QN (+)	がく片の幅	Calyx lobe: width	がく片の幅	測定 mm MS/ VG	1 2 3 4 5	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad	USCALI334-1 SAKCAL105 USCALI1651	

●調査時期

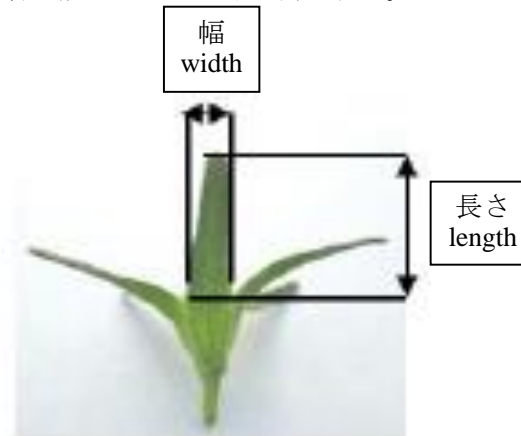
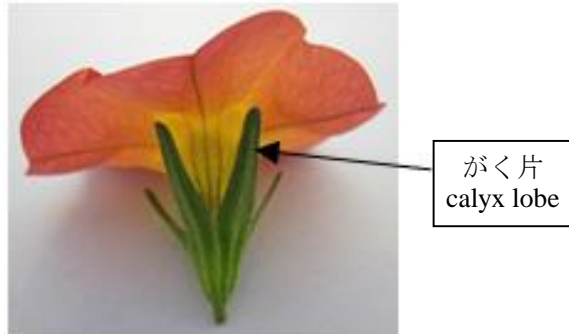
摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。

●調査方法

分枝の先端から2～3番目に着生する、典型的な開花盛期の花の、がく片の幅を測定する。

がく片の調査は、「Ⅷ.特性表の説明」に従い、5枚のがく片のうち最も幅が広いがく片を測定する。

がく片が巻いている場合は広げて測定する。



※写真は審査基準から引用

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
12	12	12	QL (* (+) G	花型	Flower: type	一重、八重の別	観察 VG	1 2	一重 八重	single double		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。

●調査方法

八重の花は、花冠裂片が2列以上重なる。  
株全体の花を観察し、評価する。



1  
一重  
single



2  
八重  
double

※写真は審査基準から引用

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	13	13	QN (* (+) G	花の幅	Flower: width	花の最大幅	測定 mm MS/ VG (b)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	BALCABPLO SAKCAL105 Suncalpi	

●調査時期

摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。

●調査方法

分枝の先端から2～3番目に着生する、典型的な開花盛期の花を調査する。

花冠裂片が垂れたものや巻いたものは広げて、最大幅を測定する。

朝、夕、曇天時に花が閉じる品種があるので注意する。

最大径ではなく「幅」であるので、花の向きに注意して測定する。なお、下写真のように上部に3裂片、下部に2裂片となるのが正しい向きである。



※写真は審査基準から引用

参考事項

VIPS №	形質番号	UPOV №	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
14	14	14	QN (* (+)	花の切れ込み	Flower: lobing	花の切れ込みの強弱	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong		

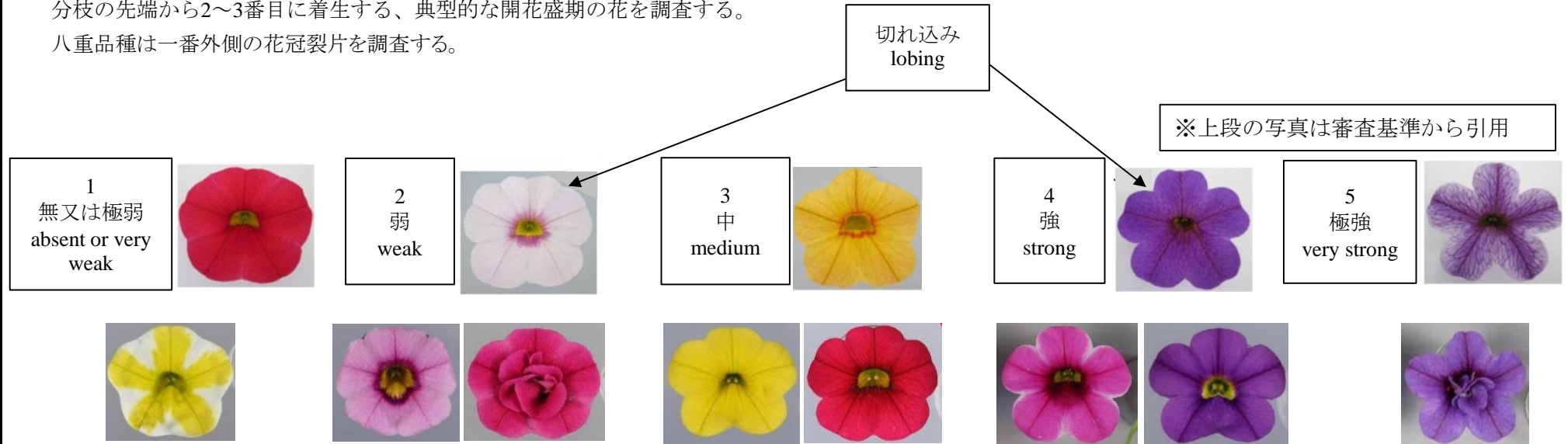
●調査時期

摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。

●調査方法

分枝の先端から2～3番目に着生する、典型的な開花盛期の花を調査する。

八重品種は一番外側の花冠裂片を調査する。



参考事項



V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
15	15	15	QN (* (+) G	花の脈	Flower: conspicuousness of veins	花の脈の明瞭度	観察 VG (b) (c)	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。

●調査方法

分枝の先端から2～3番目に着生する、典型的な開花盛期の花を観察する。

花の脈の明瞭度は、色の対比と目立つ脈の数で決定する。

八重品種は一番外側の花冠裂片を調査する。

※上段の写真は審査基準から引用



参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16	16	16	PQ (* (+) G	花の喉部の主な色	<u>Only varieties with Flower:</u> <u>type: single:</u> Flower: main color at transition to corolla tube	花の喉部の主な色（一重品種に限る）	観察 VG (b) (c)		RHSカラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。

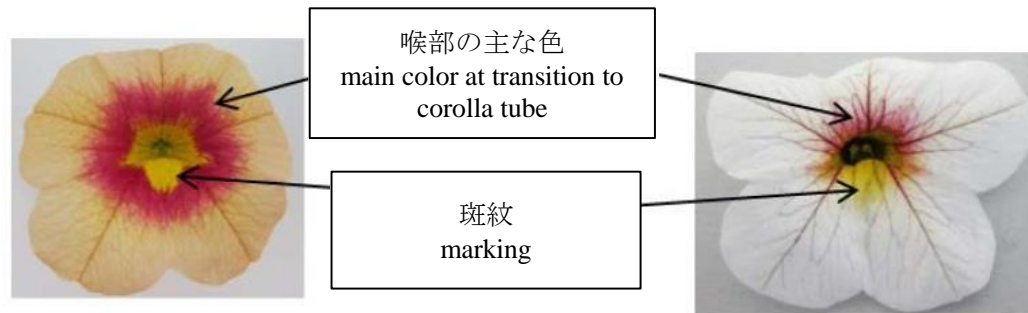
●調査方法

一重品種に限る。

分枝の先端から2～3番目に着生する、典型的な開花盛期の花の喉部の主な色を、RHSカラーチャートにより調査する。

喉部の主な色は、表面の喉部の色のうち最大面積の色とする。主な色と二次色の面積が同等の場合は、濃い色を主な色とする。

形質17「花の喉部の主な色の大きさ」が「3.小」以上の場合に調査する（審査基準Ⅷ 特性表の説明より）。



※写真は審査基準から引用

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
17	17	17	QN (* (+)	花の喉部の主な色 の大きさ	<u>Only varieties with Flower: type: single:</u> Flower: area of main color at transition to corolla tube	花の喉部の主な色の大きさ (一重品種に限る)	観察 VG (b) (c)	1 3 5 7 9	無又は極小 小 中 大 極大	absent or very small small medium large very large		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。













●調査方法

一重品種に限る。

分枝の先端から2~3番目に着生する、典型的な開花盛期の花の喉部の主な色の大きさを評価する。

花に占める喉部の色の相対的な大きさを観察する。

※上段の写真は審査基準から引用

	写真なし		写真なし		写真なし		写真なし	
					写真なし			写真なし
1 無又は極小 absent or very small	2 かなり小 absent or very small to small	3 小 small	4 やや小 small to medium	5 中 medium	6 やや大 medium to large	7 大 large	8 かなり大 large to very large	9 極大 very large

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
18	18	18	PQ (+)	花の喉部の主な色 の型	<u>Only varieties with Flower:</u> <u>type: single:</u> Flower: pattern of main color at transition to corolla tube	花の喉部の主な色の型（一重品種に限る）	観察 VG (b)	1 2 3 4	部分的に円形 円形 部分的に星形 星形	partially rounded rounded partially star-shaped star-shaped		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。

●調査方法

一重品種に限る。

分枝の先端から2～3番目に着生する、典型的な開花盛期の花の喉部の主な色の型を観察する。

形質16「花の喉部の主な色」と異なり、形質17「花の喉部の主な色の大きさ」が「2.かなり小」の場合も評価する（「1.無又は極小」の場合は評価できないため空欄とする）。



1  
部分的に円形  
partially rounded

2  
円形  
rounded

3  
部分的に星形  
partially star-shaped

4  
星形  
star-shaped

※写真は  
審査基準  
から引用

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	19	19	QN (+)	花の喉部の斑紋	<u>Only varieties with Flower:</u> <u>type: single:</u> Flower: size of marking at transition to corolla tube	花の喉部の斑紋の大きさ (一重品種に限る)	観 察 V G (b)	1 2 3 4 5	無又は極小 小 中 大 極大	absent or very small small medium large very large		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。

●調査方法

一重品種に限る。

分枝の先端から2～3番目に着生する、典型的な開花盛期の花に占める斑紋の相対的な大きさを観察する。

※右の写真は審査基準から引用



1 無又は極小  
absent or very small



2 小  
small



3 中  
medium



4 大  
large



5 極大  
very large

斑紋 (黄色の部分)  
marking

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20	20	20	PQ	花の喉部の斑紋の色	<u>Only varieties with Flower:</u> <u>type: single:</u> Flower: color of marking at transition to corolla tube	花の喉部の斑紋の色（一重品種に限る）	観察 VG (b)	1 2 3	白 黄 黄橙	white yellow yellow orange		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。

●調査方法

一重品種に限る。

分枝の先端から2～3番目に着生する、典型的な開花盛期の花の喉部の斑紋の色を観察する。

形質19「花の喉部の斑紋」において「1.無又は極小」と評価したもののうち「無」に該当する場合は空欄とする。

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21	21	21	PQ (* (+ G	花の主な色	Flower: main color	花の主な色（脈、喉部の色 及び斑紋の色を除く）	観 察 V G (b) (c)		RHSカラー チャート色票 番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。

●調査方法

分枝の先端から2～3番目に着生する、典型的な開花盛期の花の主な色を、RHSカラーチャートにより評価する。

主な色は、表面の脈、喉部の色及び斑紋の色を除いた、最大面積の色とする。主な色と二次色の面積が同等の場合は、濃い色を主な色とする。

八重品種は一番外側の花冠裂片を調査する。

参考事項



V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
22	22	22	PQ (* (+)	花の二次色	Flower: secondary color	花の二次色（脈、喉部の色 及び斑紋の色を除く）	観 察 V G (b) (c)		RHSカラー チャート色票 番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。

●調査方法

分枝の先端から2～3番目に着生する、典型的な開花盛期の花の二次色をRHSカラーチャートにより評価する。

二次色は、表面の脈、喉部の色及び斑紋の色を除いた、2番目に大きい面積の色とする。主な色と二次色の面積が同等の場合は、淡い色を二次色とする。

八重品種は一番外側の花冠裂片を調査する。

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
23	23	23	PQ (+)	花の二次色の分布	Flower: distribution of secondary color	花の二次色の分布（脈、喉部の色及び斑紋の色を除く）	観察 VG (b)	1	花冠裂片の癒合部に狭く沿う	narrow along the fused parts of the corolla lobes		
								2	花冠裂片の癒合部に中程度に沿う	medium along the fused parts of the corolla lobes		
								3	花冠裂片の癒合部に広く沿う	broad along the fused parts of the corolla lobes		
								4	花冠裂片の中央より外側の部分	at distal part of corolla lobes		
								5	花冠裂片の縁部	at margin of corolla lobes		
								6	不規則	irregular		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。

●調査方法

分枝の先端から2～3番目に着生する、典型的な開花盛期の花の二次色の分布を、観察する。八重品種は一番外側の花冠裂片を調査する。



1 花冠裂片の癒合部に狭く沿う  
narrow along the fused parts of the corolla lobes



2 花冠裂片の癒合部に中程度に沿う  
medium along the fused parts of the corolla lobes



3 花冠裂片の癒合部に広く沿う  
broad along the fused parts of the corolla lobes



4 花冠裂片の中央より外側の部分  
at distal part of corolla lobes



拡大  
magnification



5 花冠裂片の縁部  
at margin of corolla lobes



6 不規則  
irregular

※写真は審査基準から引用

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
24	24	24	PQ (+)	開花初期の花の 主な色	Young flower: main color	開花初期の花の主な色 (脈、喉部の色及び斑紋の 色を除く)	観察 VG		RHSカラー チャート色票 番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。

●調査方法

展開直後（開花初期）の典型的な花の、花冠裂片内側の主な色を、RHSカラーチャートにより評価する。

主な色は、表面の脈、喉部の色及び斑紋の色を除いた、最大面積の色とする。主な色と二次色の面積が同等の場合は、濃い色を主な色とする。

八重品種は一番外側の花冠裂片を調査する。

参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
25	25	25	PQ (+)	開花後期の花の 主な色	Aged flower: main color	開花後期の花の主な色 (脈、喉部の色及び斑紋の 色を除く)	観 察 VG		RHSカラー チャート色票 番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。

●調査方法

色あせ始めた花（開花後期）の典型的な花の、花冠裂片内側の主な色を、RHSカラーチャートにより評価する。

主な色は、表面の脈、喉部の色及び斑紋の色を除いた、最大面積の色とする。主な色と二次色の面積が同等の場合は、濃い色を主な色とする。

八重品種は一番外側の花冠裂片を調査する。

参考事項

V I P S №	形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
26	26	26	QN (+)	生育期間中の花 色の変化	Flower: color change during growing season	生育期間中の花色の変化の 強弱	観察 VG (b)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期以降の生育期間中。

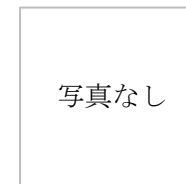
●調査方法

株全体の花を見渡し、同じ発達段階の花同士での花色の相違の程度を、観察する。開花初期→盛期→後期の花の発達に伴う花色の推移は、評価対象ではないことに注意する。

『いくつかのカリブラコアの品種の花は、光と温度条件に強く反応する。その結果、生育期間中の同じ植物体において、同じ発達段階の花であっても、主な色や二次色が異なって見えることがある。』（審査基準の説明より）



1 無又は弱  
absent or weak



2 中  
medium



3 強  
strong

※写真は審査基準から引用

参考事項

VIPS No	形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
27	27	27	PQ (+)	花冠裂片の先端の形	Corolla lobe: shape of apex	花冠裂片の先端の形	観察 VG (b)	1 2 3 4	突形 円形 切形 凹形	cuspidate rounded truncate emarginate		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。

●調査方法

分枝の先端から2～3番目に着生する、典型的な開花盛期の花の花冠裂片の先端の形を、観察する。

突形(cuspidate)は、突起を除いた輪郭が円形、切形、凹形と評価できる場合でも、先端に突起が確認できる場合には突形と評価する。

5枚の花冠裂片の中で多い状態のものを評価する。

※図は審査基準から引用



※下の写真のように、裂片が三角状になるものも突形と評価する。



参考事項

V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
28	28	28	PQ (*) (+)	花筒の内面の主 な色	<u>Only varieties with Flower: type: single: Corolla tube: main color of inner side</u>	花筒の内面の主な色（一重 品種に限る）	観 察 VG		RHSカラー チャート色票 番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。

●調査方法

一重品種に限る。

分枝の先端から2～3番目に着生する、典型的な開花盛期の花の、花筒の内面の主な色を評価する。

花冠を切り裂き、RHSカラーチャートにより評価する。

主な色は表面の最大面積の色とする。主な色と二次色の面積が同等の場合は、濃い色を主な色とする。

参考事項



V I P S №	形 質 番 号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
29	29	29	QN (+)	花筒の内面の脈	<u>Only varieties with Flower:</u> <u>type: single:</u> Corolla tube: conspicuousness of veins on inner side	花筒の内面の脈の明瞭度 (一重品種に限る)	観察 VG	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong		

●調査時期

摘心後1.0ヶ月後から花数がある程度増えた時期で、可能な限り5月下旬を目途に終了させる。

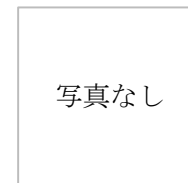
●調査方法

一重品種に限る。

分枝の先端から2～3番目に着生する、典型的な開花盛期の花の花筒の内面の脈を調査する。

花冠を切り開き観察評価する。

花筒の内面の脈の明瞭度は、色の対比と目立つ脈の数で決定する。



※写真は審査基準から引用

1 無又は極弱  
absent or very

2 弱  
weak

3 中  
medium

4 強  
strong

5 極強  
very strong

参考事項